

令和8年度 市民病院 運営方針

1 組織目標

- (1) **地域の基幹病院として、安全で高度な専門医療の提供と地域完結型医療を推進し、信頼される病院をめざします。**

地域の医療水準の向上と診療機能の役割分担を促進するため、最新の医療機器を活用し高度で専門的な診療体制を整備するとともに、地域の医療機関や介護サービス事業者等との連携を強化し、地域完結型医療を推進します。

- (2) **職員全てが心身の健康を維持し、働きやすい職場環境の整備を進めます。**

良質かつ適切な医療を継続して提供するため、医師や看護師を始めとした医療職員の確保と育成に努め、院内で従事する職員全てがいきがいを持って働くことができるよう職場づくりを推進します。

- (3) **公営企業として、健全な経営に努めます。**

第3次中期経営計画に基づき、経営基盤を強化し、健全な経営に努めます。

2 重点施策・重点事業

(1) 安全で高度な専門医療の提供

手術支援ロボットを始めとする最新の医療機器を活用し、安全で高度な専門医療を提供するとともに、人員の確保及び必要な知識や技術の習得に努めます。また、変化する医療ニーズに対応するため、外来診察室の整備や救急車を救命救急センターに配置するなど、基幹病院としての機能拡充を図ります。

- ① 医療職員の安定的な確保と人材育成
- ② 病院機能評価の更新受審
- ③ 次期電子カルテシステム更新に向けた準備
- ④ 外来機能及び救急医療の充実

(2) 地域完結型医療の推進

地域医療支援病院として、地域住民が住み慣れた地域で切れ目のない医療が受けられるよう、地域医療の第一線を担う、かかりつけ医などの医療機関との「顔の見える連携」の一層の強化に努め、地域の医療機関と市民病院のそれぞれが担う機能を分担するとともに「ふたり主治医制」を推進することで、地域完結型医療を推進します。

- ① 地域完結型医療の発展に向けた医療機能分化の推進

(3) 経営強化による持続可能な病院事業運営

厳しい経営状況が続く中、今後の人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療ニーズの変化を踏まえた資源の配分、収益確保や経費削減への取り組みを進め、地方公営企業として持続可能な病院事業の運営に努めます。また、診療報酬改定を踏まえ、市民病院の診療機能を確実に反映させるとともに、適正な請求を継続し、収入の確保を図ります。

- ① 第3次中期経営計画に基づく事業進捗の管理と計画の推進
- ② 診療報酬改定を反映した適切な収入の確保